講義名	ビジネス会計				
科目区分	学部フリーゾーン				
担当教員	孫　美				
開講期・曜日・時限	前期 金曜日 ４時限	授業形態			
	2019年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツマネジメントコース／2019年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース／2019年度 人間社会学部 人間健康学科／ 2019年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・ブライダルコース／2019年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース／2019年度 人間社会学部 観光学科／				
履修開始年次	２年生	単位数	2	備考	

主題と概要

企業の実態を把握するためには非財務情報の分析も当然必要ですが、財務情報を抜きにして企業の経営状況を語ることはできません。財務情報もしくは会計情報は企業の実態を説明する一種の言語であるということで、しばしば「ビジネス言語」と言われています。国際人として活躍するためには英語や中国語などの語学力を身に付ける必要があるのと同じように、ビジネス・パーソンとして活躍するには「ビジネス言語」である会計の知識を身に付ける必要があります。
会計は入口のところから専門用語の壁があるので、難しく考えられがちです。しかし、その専門用語の壁さえ乗り越えられれば、会計の面白さが実感できると思います。
本講義では会計の役割、日本の会計制度と会計基準を巡る近年の国際的な動向の概要、財務諸表の基本的な仕組みについて解説します。

到達目標

・会計制度は重要な社会的インフラであることが理解できます。
・代表的な財務諸表の基本的な仕組みが理解できます。

提出課題

ほぼ毎回の講義で課題の提出を求めます。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

課題提出後は解答を配布します。講義資料の中に明確な解答がある場合は、配布しません。

評価の基準

平常点50%、定期試験50%の割合で評価を行います。

注：以上は平常時の評価方法です。新型コロナウィルスによるオンライン講義では、定期試験を実施せず、課題の提出で評価します。

履修にあたっての注意・助言他

本講義は簿記の基本的な知識を有することを前提に講義を進めます。「基礎簿記」を履修済み、「商業簿記Ⅰ」を履修済みもしくは履修中であることが望ましいです。

教科書

プリント資料及び参考文献

＜教科書＞
指定テキストはございません。講義中、資料を配布します。

＜参考図書＞
大阪商工会議所編『ビジネス会計検定試験公式テキスト3級（第4版）』中央経済社、2019年。
永野則雄著『ケースでまなぶ財務会計（第8版）』白桃書房、2018年。

授業計画

第1回　ガイダンス・意思決定と会計情報
第2回　会計の役割
第3回　日本の会計制度
第4回　会計基準を巡る国際的な動向①
第5回　会計基準を巡る国際的な動向①
第6回　会計基準を巡る国際的な動向①
第7回　貸借対照表①
第8回　貸借対照表②
第9回　貸借対照表③
第10回　貸借対照表④
第11回　貸借対照表⑤
第12回　損益計算書①
第13回　損益計算書②
第14回　損益計算書③
第15回　損益計算書④

注：以上は平常時の計画です。オンライン講義でもできるだけ以上の内容で進めていきたいですが、シラバスを作成する時点ではオンライン講義でどこまで進められるのか、新型コロナウィルスによるオンライン講義がいつまで続くのかなど不確定要素が多いですので、授業内容の変更はオンライン講義で口頭もしくは資料でお知らせします。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

○	ア：PBL（課題解決型学習）
	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート
	エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション
	カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

指定テキストがなく、講義中資料を配布するので予習は必要ありませんが、復習は必要です。1コマあたり約1時間の復習を心掛けてください。普段の復習を怠ると、定期試験直前の全体復習の際より多くの時間を費やす必要があります。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

講義中、教員からの質問に対し自らの考え方を整理し、発言する機会はほぼ毎回あります。ICTは利用しません。

実務経験の有無及び活用

実務経験あります。
実務経験が本講義の内容と直接関連するわけではないが、受講生に刺激になると思われるエピソードがある場合は適宜紹介していきたいと思います。

備考